

# 日吉台新聞

HIYOSHIDAI

発行

日吉台学区  
まちカニ

編集責任者  
野々口 義信

日吉台学区  
個人情報保護方針  
取り扱い文書



学区ホームページ

## 「まち協」設置問題で調査研究報告

### 自治連改革など提案

まちカンパニー

学区自治連合会の要請で、市提唱の新地域自治組織「まちづくり協議会」設置問題について調査、研究をしていた学区まちづくりカンパニー（会長、濱崎博元学区自治連合会長）は、1月21日開いた学区自治連合会定例役員会で、「学区内諸活動の中心担い手は後期高齢者グループ。将来のことを考えた場合、何らかの手立てを講じる必要がある」とする調査研究結果を報告、課題解決のため令和2年1月の

「自治連合会のあり方答申」に示した学区自治連合会改革に向け、早期に検討をはじめよう提案した。まちづくりカンパニーの報告を受け学区自治連合会の野々口義信会長は、定例役員会の席上、「答申のあった自治連合会改革案について、令和5年度の自治連合会で自治連改革に合わせ、まち協についても取り扱いを検討したい」と述べ、来期の自治連での問題の議論を開始する方針を明らかにした。

## 新年度学区自治連合会で議論へ



自治連定例役員会で、調査研究結果を報告する濱崎会長

調査、研究依頼を受けた同カンパニーは、市提唱の新自治組織のまち協について、市の設置問題についての取り組み、考え方などの現状掌握と、すでにまち協を設置、運営する下阪本学区の下阪本まちづくり協議会と、和邇学区のわにまちづくり協議会の役員から聞き取り調査や検討作業を行った。

市提唱のまち協は、小学校区を活動範囲に、学区内全住民を対象とする組織。自治会、自治連合会、各種団体、地域

事業者や個人など多様な主体が活動に自由に参加出来ることを構成要件として示し、会則制定や地域の課題や目標を共有し、

活動方針や事業計画の定めなどについても特定団体や個人の利益に寄与しないことなど透明性の高い運営を求めている。

日吉台学区の学区自治連合会組織は地縁関係団体法人。市が示す「まち協」要件は、実施、実行

下阪本まちづくり協議会は、令和4年3月設立。構成団体は学区内22団体、事業所17団体、個人20人

まちづくりカンパニーの調査によると、日吉台学区では、各種団体の連携、住民主体の活動は十分保証され、自治会

## 日吉ブロックの地域活性化策へ取り組み

### 連絡会議を設置、発足

日吉ブロックの地域課題や学校を取りまく諸問題の解決、ブロックの地域活性化策を探る「日吉ブロック地域・学校活性化に関する連絡会議」が

本、雄琴、日吉台の各学区で構成している。新発足したこの連絡会議は、日吉ブロック全体をまちづくり視点で地域とブロッ

会員は、坂本、下阪本、雄琴、日吉台各学区の自治連合会代表者、日吉中、坂本小、下阪本小、雄琴小、日吉台小、坂本幼稚園、下阪本幼稚園、坂本、

設立会議では、会則などを承認し、会長に谷正男坂本学区自治連合会長、副会長に真嶋龍道下阪本学区自治連合会長、松代弘日吉中学校長をそれぞれ選出した。同会議は当面の取り組み課題として

移設⑥学校施設整備及び児童数増加に伴う教室不足、児童クラブ施設の狭小化への対策などを取り上げている。

購入したベストは、背中に2基のファンが設置、胸内ポケットからのバッテリーの電気でファンが回る。また首部分には汗吸収ニット、脇は通気メッシュとなっている。価格は1着1万6000円。

## ファンつきベスト購入 熱中症対策



熱中症対策として購入したファンつきベスト

空き家対策

加入率も70%程度確保され学区としてまとまりは市内他学区と比較しても良いほうだ、と分析。今後の課題として、高齢化にともなう諸活動の担い手不足が深刻化しており、対策は急務と結論、

会の役割分担をする。かつ各種団体をグループ化して事業の統合化、組織のスリム化を実施する③コミュニティセンターを

学区自治連合会は、空き家対策委員会の要請を受け、真夏の作業中の熱中症対策として、ファンつきベスト4着購入した。空き家対策委では、学区に点在する空き家対策として、空き家見守り隊を組織、見守り活動や空き家で伸び放題になっている庭木伐採などの活動をしている。特に真夏の庭木伐採作業は過酷で、昨年夏作業中の見守り隊員が熱中症の症状を訴え、購入希望を自治連にあげてきた。

歩道のある道では必ず歩道を歩きましょう



夜の歩行時は明るい色の服・反射材を



**下り坂走行注意**

- ◆自然加速で速度超過
- ◆制動距離増加

◆終端付近見通し不良

**制限速度を守り 終端付近では最徐行**

# 飛躍へ願い込め、新春の風物詩

## どんど焼きまつり、もちつき



どんど焼きの残り火でもちを焼く参加者

日吉台学区新春恒例、日吉台小学校で、「もちつき大会」と「どんど焼きまつり」が1月7、8日の両日、日吉台小学校で3年ぶりに開催された。初春のこの伝統行事、新型コロナウイルス禍で令和3年、4年と2年連続で中止は、依然収束していないが、恒例の行事を待ちわびる住民も多く、感染対策に注意を払い開催された。

「もちつき」「どんど焼きまつり」共、おだやかな天候に恵まれ、子どもたちを中心に多くの住民が集まり、無病息災と家内安全を祈願、ふるまわれた豚汁と焼きもちを味わった。

伝統行事の良さを日吉台の子どもたちに伝えるため日吉台夢・未来事業推進委員会（森育寿会長）が、平成19年から始めた日吉台の新春の風物詩。

もちつき大会は、小学校の中庭であり、205人が参加。子どもたちもお世話をする大人たちに混じって代わる代わるみんなでおもちゃをついた。スタッフたちが、きなこもちやぜんざいを作るコーナーは、3年ぶりのもちつきとあって子どもたちや家族連れらの長い行列ができていた。

どんど焼きまつりには、216人が参加。同小校庭には、木材を使ったやぐらが組まれ、日吉大社から招いた神職によるお祓いのあと、お正月の松飾りやしめ縄、子どもたちの書初めなどが入れられ火入れされた。卯年のどんどは、例年になく炎は高く大きく、日吉台にとって飛躍の願いを込めたどんど焼きまつりとなった。このあと子どもたちが竹棒の先につけたおもちを残り火で焼き、あつあつのおもちをほおぼっていた。

### お正月の校庭、子らの歓声



日吉台小で行なわれるどんど焼き



ボランティアの人の手を借りておもちをつくる児童

## 夢プロ事業、テーブル披露

### 日吉台小



日吉台小中庭のフジ棚下をみんなが集える場所に、と日吉台小学校の夢プロジェクト、同小6年生児童が製作していた木製のベンチ

やテーブルがほぼ完成、テーブル6脚が1月7日同小で行われた学区の新春恒例行事、「もちつき大会」で披露されたII写真。

同小が実施する夢プロジェクト事業の第2弾。今年6年生が、中庭をみんなが集える憩いの場づくりにしようという提案、子どもたちが手づくりの木製ベンチ、テーブル、椅子などを置くことを決め、1学期末に18人が3グループに分かれ、デザイン制作、昨年末同小図工室で、テーブルやベンチなどの組立てを完成させた。

## 常盤さんに消防功労賞

大津市民会館で1月8日開かれた大津市消防出初式典で、自主防災活動に尽力したとして3丁目西の常盤孝夫さんが、山川真也市消防局長から消防功労表彰された。常盤さんの表彰状伝達式は、1月21日の学区自治連合会定例委員会の席上行われ、野々口義信学区自治連合会長から表彰状が手渡されたII写真。



常盤さんは、平成28年度3丁目西自主防災会に加入。同防災会事務局長に就任後、3丁目西地区における災害時要援護者

支援の体制づくり、災害時避難者防災避難ガイド、要援護者安否確認マニュアルの作成などに尽力、地区で実施されるさまざまな防災活動、行事、訓練に携わり地域住民の安心、安全な暮らしづくりに大きく貢献した。

### 市街灯+私街灯

玄関灯・門灯 点灯にご協力ください!

- ✓ 夜道も明るくて安心
- ✓ 泥棒に狙われにくい街づくり



・ 門灯点灯やセンサーライト取り付けは多くの警察で防犯対策として推奨されています。  
・ 電気代はLED電球(40W電球相当)の場合、1日12時間点灯でも月60円程度です。